

(1) 質問者議員 工 藤 敬 子

件名 1 子どもたちが体験を通して楽しく学べるだけでなく、学校に行きづらくなった児童・生徒や、その保護者にも寄り添う学校運営を目指して。

要旨 1 体験や実践を通じた学びについて。

- (1) 「必修教科＋栄養教育＋人間形成」の3つをゴールとし、持続可能な生き方、エコロジーを理解する知性、自然界との絆を身につけさせることを目的とした、食べること、いのちのつながりを学校で教える、エディブル・スクールヤードの仕組みを導入してはどうか。

要旨 2 児童・生徒、保護者に寄り添う学校運営について。

- (1) 学校に行きづらくなった児童・生徒に給食を提供する場をつくり、社会とのつながりを届ける仕組みを導入してはどうか。
- (2) 全ての放課後児童会に、長期休業期間中の希望選択制の昼食サービスを導入してはどうか。

件名 2 活気と魅力あふれる河内長野に。

要旨 1 令和4年より、にぎわい創出のための活用が行われているモックル・フルル広場について、今後の活用をお尋ねします。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者